

TALKING AID™

トーキングエイド for iPad



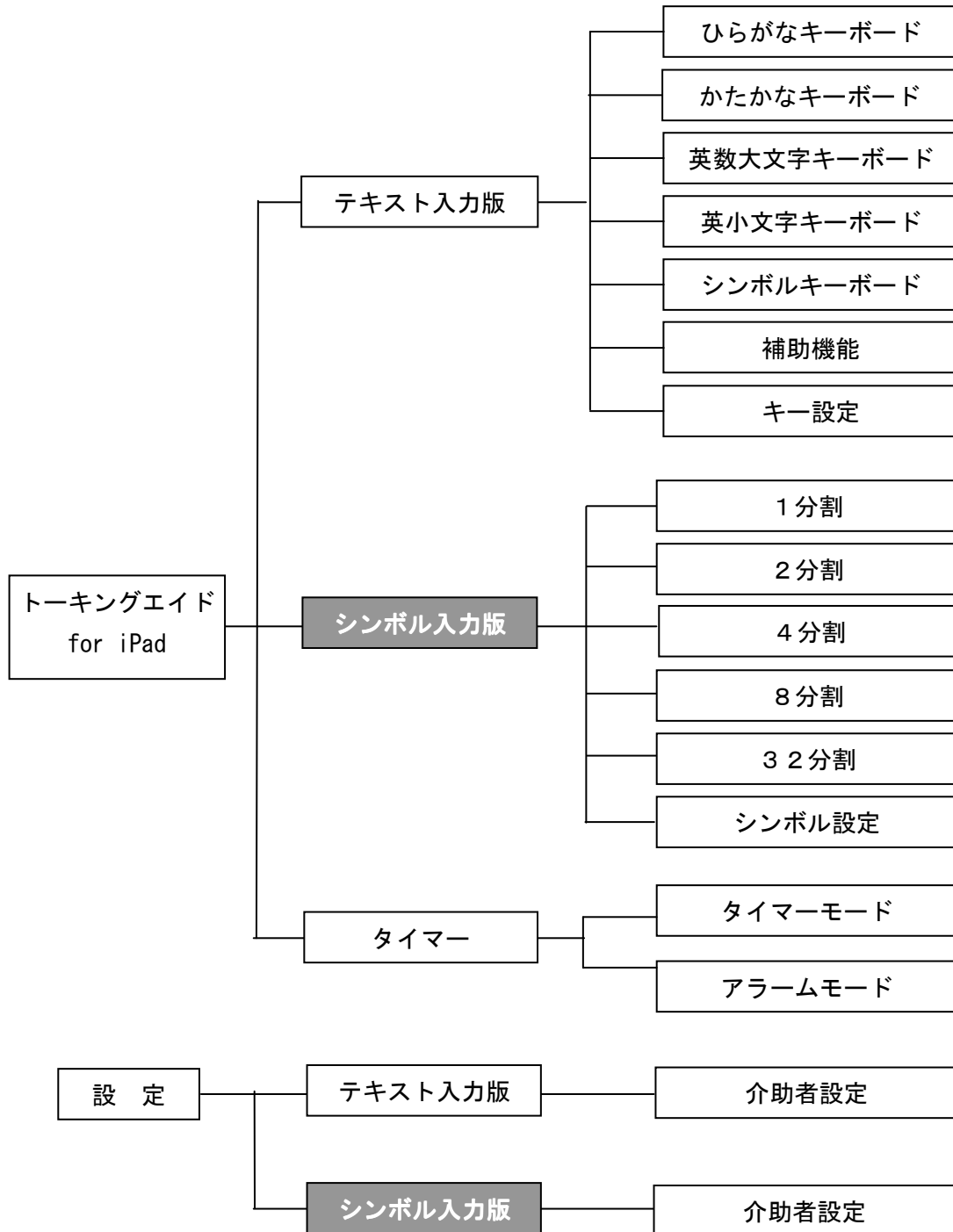
シンボル入力版 ユーザーズガイド



1. アプリケーションソフト構成

トークンゲイト for iPad のアプリケーションソフトは、テキスト入力版、シンボル入力版、タイマーの3種類で構成され、それぞれ複数の入力画面を有します。

又、iPad の設定のトークンゲイト介助者設定により、ユーザーの障害に応じた各種設定を行うことができます。

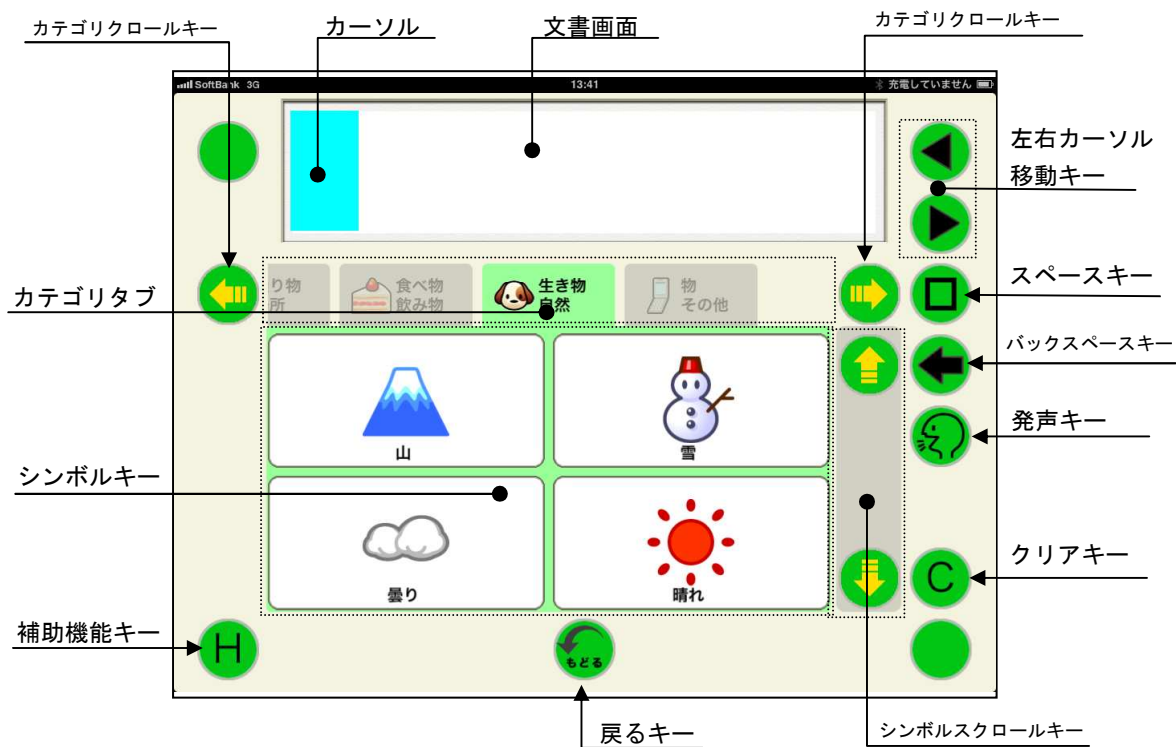


2. 各アプリ共通仕様

- ・全てのキーは、タッチした際に入力され、キーリピートは行わず1タッチで1入力です。
- ・介助者による設定以外は、スワイプを使わずに操作を行うように作られています。
- ・画面サイズは iPad 専用で、1024×768 ピクセルです。

3. シンボル入力版仕様

3-1. 各キーの仕様



①文書画面

入力されたシンボルを表示します。シンボルは最大8個まで表示可能。8個を超えると入力されません。

文書画面にタッチすると、文書画面の表示が反転します。元に戻す場合は、再度、文書画面にタッチします。

②シンボルキー

それぞれのシンボル（絵文字）を入力します。設定により、シンボルの表示数を1、2、4、8、32に変更することができます。又、シンボル設定で発声する語句や表示を変更することができます。

③カテゴリキー

それぞれのシンボルに分類されたカテゴリを選択することができます。希望のカテゴリタブにタッチするとそのカテゴリタブが中央に移動し、中央に表示されたカテゴリ内のシンボルが表示されます。

④左右カーソル移動キー ◀ ▶

カーソルが▶入力時は左に、◀入力時は右に1シンボル分移動します。

カーソル以降が未入力の場合、▶入力時はエラー音が発生しカーソルが移動しません。

カーソルが文頭にある場合、◀入力時はエラー音が発生しカーソルが移動しません。

⑤カテゴリスクロールキー ⇄

カテゴリタブが右又は左に1タブ分移動させることができます。タブが移動し中央に表示されたカテゴリ内のシンボルが表示されます。

⑥シンボルスクロールキー Ⓜ

表示されているシンボルを上下にスクロールさせ、選択されているカテゴリ内に登録された別のシンボルに変更することができます。

⑦スペースキー Ⓜ

空白が挿入され、カーソルが右に1文字分移動します。

⑧バックスペースキー ⇄

カーソルの左側にあるシンボルが削除され、その位置にカーソルが移動します。

シンボルとシンボルの間にカーソルがある時は、カーソルの左側のシンボルが削除され、カーソルの右側のシンボルが1文字分左詰めされます。

⑨発声キー

文書画面に表示されたシンボルを文頭から読み上げます。

⑩クリアキー

文書画面に表示されているシンボルが全て消去され、カーソルが文書画面の先頭に移動します。

⑪戻るキー

前回の操作が1回だけ取り消されて元に戻ります。

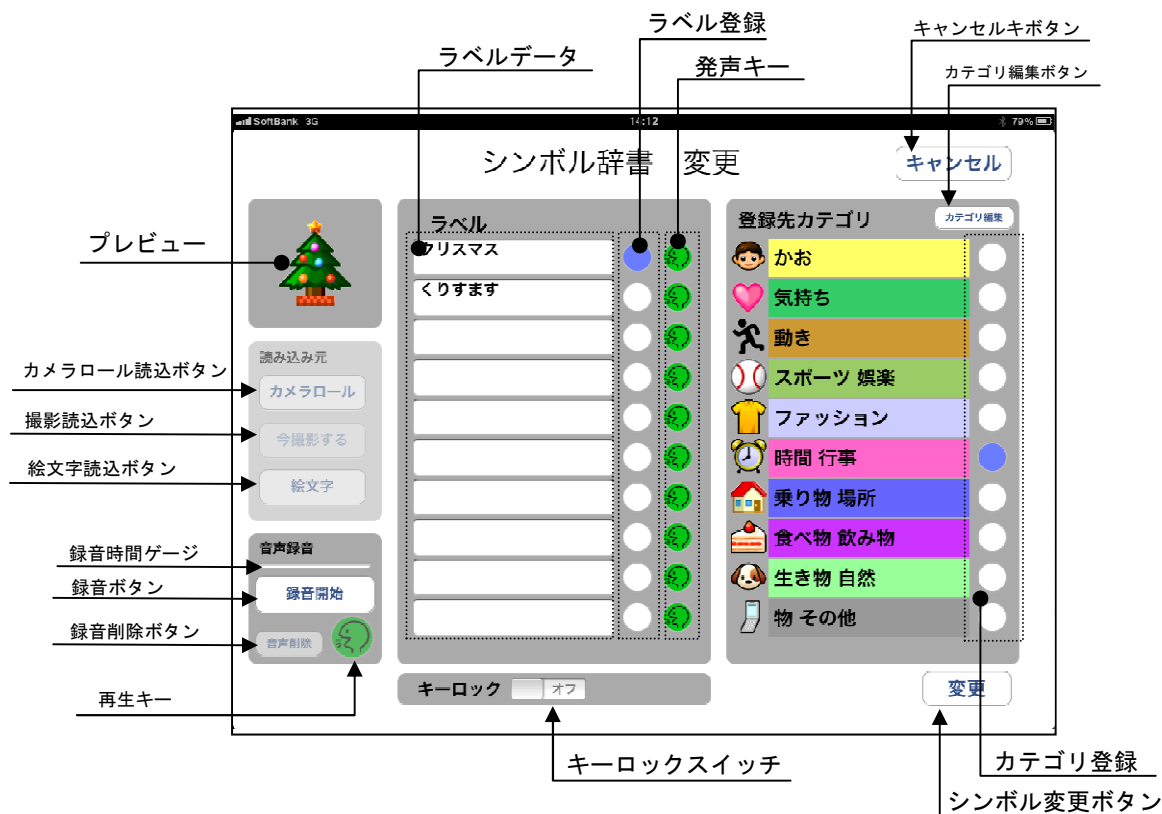
例：間違えてクリアキーで消してしまった文書を元に戻すときに便利です。

⑫補助機能キー

・シンボル設定画面を呼び出すときに使用します。

3-2. シンボル設定

Hキーにタッチしながら任意のシンボルにタッチすると、シンボル設定画面が表示されます。シンボル設定画面では、シンボルを他のシンボルや写真に変更することができます。又、選択したシンボルを別のラベルに変更したり、録音音声に変えたりすることもできます。



(1) シンボルのラベルの変更

①シンボル設定画面で、読みデータの空白のマスにタッチします。

(ラベルが既に10個分登録されている場合や登録済みのラベルを変更したい場合には、変更するラベルが登録してあるマスをタッチします。)

②iPadのキーボードが表示されますので、ラベルを入力します。ラベルは漢字、英数字も使用できます。



②ラベルを入力したマスの右側にある発声キーを入力して発声を確認します。

③ラベルを入力したマスの右側にあるラベル登録の○をタッチして青○にします。

④右下の変更ボタンにタッチすると、当該シンボルのラベルが変更され、シンボル入力画面に戻ります。



(3) 登録先カテゴリの変更

①既に登録されているシンボルを別のカテゴリに登録する場合には、登録したいカテゴリ名の右側にある○をタッチします。○が青色になります。



②右下の変更ボタンにタッチすると、カテゴリが変更され、シンボル入力画面になります。



(4) カテゴリ名の変更

- ① シンボル設定画面の登録先カテゴリの右上にあるカテゴリ編集ボタンをタッチします。

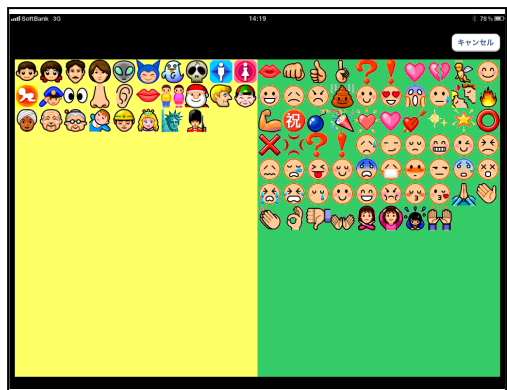


- ② カテゴリ編集画面が表示されますので、変更したいカテゴリ名にタッチします。



- ③ iPad のキーボードを利用して、任意のカテゴリ名を入力します。

- ④ カテゴリの付けられたシンボルを変更する場合には、変更したいカテゴリのシンボルをタッチすると、シンボル一覧が表示されますので、希望のシンボルを選択します。



- ⑤カテゴリ編集画面の右上にある保存ボタンをタッチするとシンボル設定画面に戻りますので、右下の変更ボタンをタッチします。

シンボル入力画面に戻り、カテゴリが変更されました。



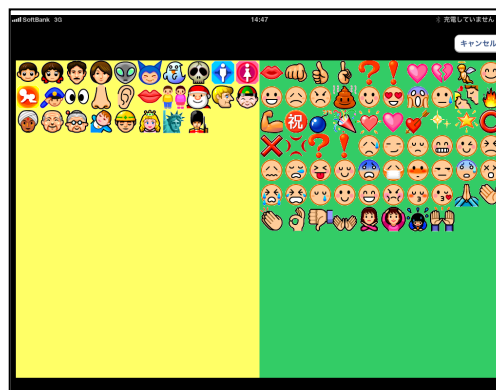
(5) シンボルに絵文字を新規登録

- ①何も登録されていない空白のシンボルを選び、シンボル設定画面を表示させます。

シンボル設定画面で左側にある読み込み元の絵文字読み込ボタンにタッチします。



- ②内蔵されている絵文字が一覧で表示されますので、左右にスワイプしてスクロールさせ、希望の絵文字が表示されたら、その絵文字をタッチします。



- ③シンボル設定画面のプレビューに、選択した絵文字が表示されます。この絵文字で良ければ、必要に応じてラベルを変更し、登録ボタンにタッチします。



- ④絵文字が登録され、シンボルキーに表示されます。



- (6) シンボルに保存されている写真を新規登録

- ①何も登録されていない空白のシンボルを選び、シンボル設定画面を表示させます。

シンボル設定画面で左側にある読み込み元のカメラロールボタンにタッチします。



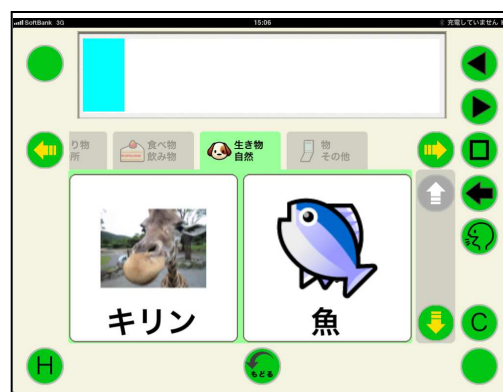
- ③写真アルバムが表示されますので、シンボルにしたい写真の入っているアルバムを選びその写真を表示させます。



- ④シンボルにしたい写真が表示されたら、右上にある使用ボタンをタッチします。シンボル設定画面に変わり、左上のプレビューに選択した写真が表示されます。



- ⑤ラベルを入力し、登録元のカテゴリを選択して、右下の登録ボタンにタッチすると、シンボルキーに表示されます。



- (7) 内蔵カメラで撮影した写真をシンボルとして利用
カメラが内蔵されている iPad を利用している場合には、iPad で撮影した写真をシンボルにすることができます。

- ①何も登録されていない空白のシンボルを選び、シンボル設定画面を表示させます。

シンボル設定画面の左側にある読み込み元の今撮影するボタンにタッチします。



- ②内蔵カメラが作動し、カメラに写る画像が表示されます。
iPad を動かして画像が決まったら、カメラのマークの撮影ボタンにタッチします。



- ③撮影した画像で良ければ、使用ボタンにタッチします。
撮り直す場合には再撮影ボタンにタッチします。



- ④撮影した写真がプレビューに表示されます。
ラベルを入力して、カテゴリを選択し、左下の登録ボタンにタッチします。



- ⑤シンボルキーに登録されます。



(8) キーロック

使用しないキーにロックをかけ、タッチしても入力されないようにすることができます。

<シンボルキーの場合>

- ①シンボル設定画面の中央下にあるキーロックをスライドしてオンにします。



- ②右下の変更ボタンにタッチすると、シンボル設定画面で選択したシンボルキーがロックされ、タッチしても入力できなくなります。

ロックを解除する場合には、シンボル設定画面でキーロックをオフにします。



<機能キーの場合>

- ①シンボル入力画面でHキーにタッチしながらロックしたい機能キーにタッチします。

キーカスタマイズ設定画面が表示されますので、キーロックをスライドさせてオンにし、完了ボタンにタッチします。



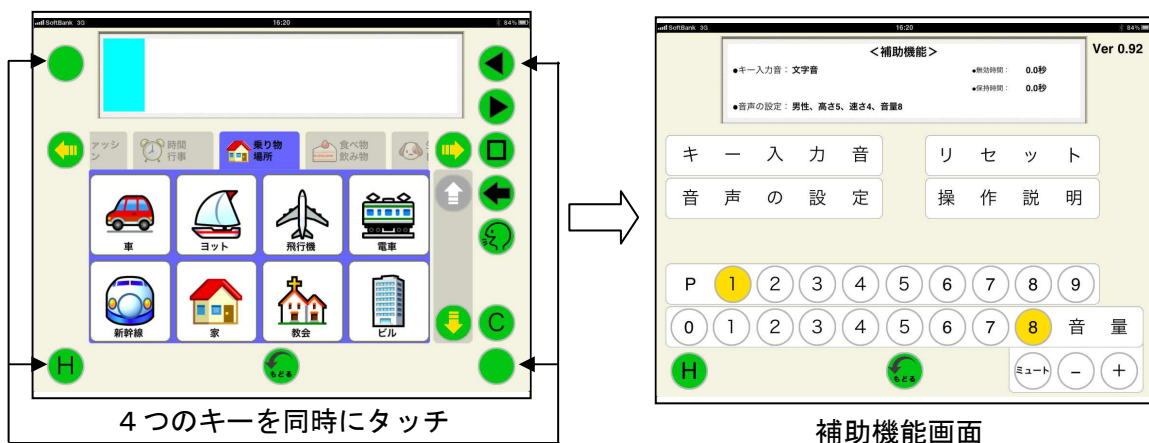
- ③ 選択した機能キーがロックされ、タッチしても機能しなくなります。
 ロックを解除する場合には、キーカスタマイズ画面でキーロックをオフにします。



3-3. 補助機能

補助機能により、トーキングエイド for iPad シンボル入力版を立ち上げた状態で、キーを入力した際の入力音、音声の設定、表示ページの切替、音量設定を行うことができます。

補助機能画面にするには、シンボル入力画面で4隅（右上の左カーソル移動キー、右下の★キー、左下のHキー、左上の未表示キー）を同時にタッチします。



3-3-1. 音量設定

音量を設定することができます。

① +（プラス）キー

入力ごとに音量が1段階上がり、クリック音に設定されている場合はクリック音、文字音と音声案内付の場合は「音量～」と入力された音量で発声します。

② -（マイナス）キー

入力ごとに音量が1段階下がり、クリック音に設定されている場合はクリック音、文字音と音声案内付の場合は「音量～」と入力された音量で発声します。

③ 音量の数字キーを入力すると、直接その数値の音量となりクリック音に設定されている場

合はクリック音、文字音と音声案内付の場合は「音量～」と入力された音量で発声します。

- ④ 音量0を選択すると、音量全ての状態で無音となります。
- ⑤ ミュートキーを入力するとミュート状態となり、発声キーでの発声以外は無音となります。
- ⑥ 希望の音量に設定できたら、H：補助機能キー又は戻るキーを入力すれば、文書作成画面になります。

3-3-2. ページ選択

- ① 選択したいページの数字を入力します。
- ② クリック音に設定されている場合はクリック音、文字音と音声案内付の場合は「ページ～」と入力された音量で発声します。
- ③ 選択されたページが表示されたシンボル入力画面に切り替わります。

3-3-3. キー入力音

補助機能画面でキー入力音を選択すると、キーを入力した際に発生する音の設定を行うことができます。



(1) 文字音

- ①文字音を選択すると、「文字音に変わりました」と発声されシンボル入力画面に戻ります。
- ②シンボルキーが入力された場合、その読みを発声します。
- ③機能キーが入力された場合は、クリック音が発生します。
- ④発声キーが入力された場合、文書画面の文書を発声します。

(1) クリック音

- ①クリック音を選択すると、クリック音が発生しシンボル入力画面に戻ります。
- ②発声キー以外のキーが入力された場合、クリック音が発生します。
- ③発声キーが入力された場合、文書画面の文書を発声します。

(3) 音声案内付

- ①音声案内付を選択すると、「音声案内付に変わりました」と発声しシンボル入力画面に戻ります。
- ②発声キー以外のキーが入力された場合、そのキーを発声します。
- ③発声キーが入力された場合、文書画面の文書を発声します。

3-3-4. 音声の設定

補助機能画面で音声の設定を選択すると、声質、声の高さ、発声速度を設定することができます。

それぞれ、タッチするごとにその設定で発声しますので、希望の音声となったらHキーを入力します。

シンボル入力画面に戻り、以降は設定された音声で発声します。



3-3-5. リセット

各種設定をリセットすることができます。

(1) 個人の設定をリセット

iPad の設定アイコンから設定した、以下の設定をインストール時の設定にすることができます。

ミュート、音量、キーロック、ページロック、無効時間、保持時間

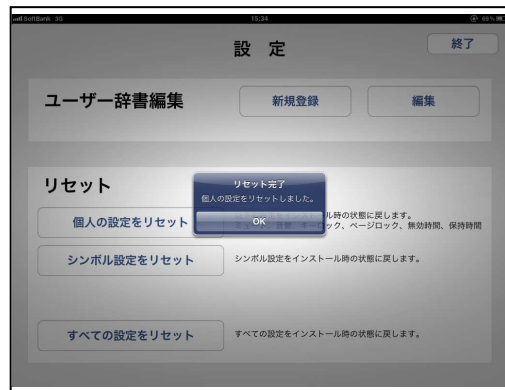
- ①設定画面のリセットの個人設定をリセットボタンにタッチします。



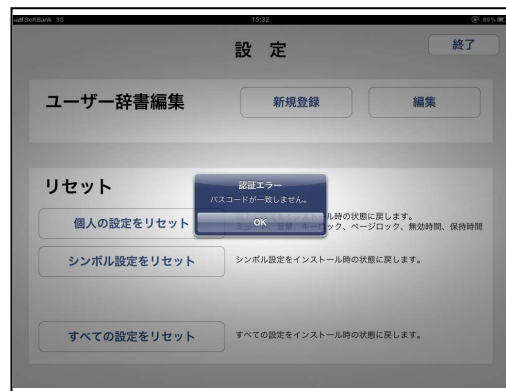
- ②パスワードの入力画面が表示されますので、iPad の設定アイコンで登録したリセットパスワードを入力し、リセットするボタンにタッチします。



- ③リセット完了が表示されますので、OKボタンにタッチします。
これで、個人の設定がダウンロード時の設定に戻りました。



- ④リセット完了が表示されず、認証エラーが表示された場合には、OKボタンをタッチ後に、iPadの設定アイコンからリセットパスコードを再入力し、リセットを再度行ってください。



(2) シンボル設定をリセット

シンボルの設定をインストール時の状態にすることができます。

※シンボル設定をリセットすると、設定した写真等も削除されますのでご注意ください。

設定画面のリセットのシンボル設定をリセットボタンにタッチし、個人の設定をリセットと同じ要領でリセットします。



(3) 全ての設定をリセット

全ての設定をインストール時の状態にすることができます。

※全ての設定をリセットすると、設定した写真やメール設定も削除されますのでご注意ください。

設定画面のリセットの全ての設定をリセットボタンにタッチし、個人の設定をリセットと同じ要領でリセットします。



4. 設定

iPad の設定アイコンから、トーキングエイド for iPad シンボル入力版の各種設定を行うことができます。

設定を起動し、左側の設定の TA シンボルをタッチします。

右側にトーキングエイドの基本設定が表示され、各種設定を行うことができます。



(1) 回転の固定

回転の固定をONにすると、トーキングエイド for iPad シンボル入力版を起動した場合、必ずホームボタンを右側にした状態で正対するように、表示されます。

トーキングエイド for iPad プロテクターケースとキーガードを利用される方は、ロック解除がキーガードに妨げられて解除することができないため、以下の手順で設定するとキーガードの開口部（文書作成画面）からロックを解除することができます。

- ① 設定で回転の固定をONにします。
- ② ホームボタンが左側に来る向きで画面が正対するようにします。
- ③ ホームボタンをダブルクリックし、下側の最も左にある画面の向きをロックするをタッチします。

(この際、一番左側のアイコンが消音になっている場合には、本体横のスイッチでロックするか、一般の設定で本体横のスイッチの設定を消音に変更してください。)



- ④ ホームボタンを2回クリックし、トーキングエイド for iPad シンボル版のアイコンをタッチして起動してください。
- ⑤ トーキングエイド for iPad シンボル版の画面が反転表示されることを確認して、キーガードを取り付けてください。

(2) シンボル設定

シンボル設定をONにすると、シンボル設定で他の絵文字や写真に追加・変更したり、読みを設定したりすることができます。

シンボル設定は、Hキーとカスタマイズしたいキーを同時にタッチすることで、設定することができます。

OFFの場合には、シンボル設定を行うことができません。

(3) 無効時間

キーを入力後、指を離してから次の入力を受け付けなくなる時間を設定することができます。

指にふるえがあり、2度打ちによる誤入力がある方に有効です。

無効時間は、0.1秒から0.9まで0.1秒刻みで設定することができます。

(4) 保持時間

キーに触れてから入力されるまでの時間を設定することができます。

目的のキーを入力するまでに、他のキーに触れてしまい誤入力がある方に有効です。



(5) キーロック

キーロックをONにすると、任意のキーをロックさせて入力がされないようにすることができます。OFFにするとキーロック設定を行うことができなくなります。

(6) 絵文字利用

絵文字利用をOFFにすると、キーボードに配置されている絵文字が全て削除されます。ご自分でオリジナルのキーボードを作成される方は、絵文字利用をOFFにして、シンボル設定で任意のシンボルや写真を読み込んで新規のキーボードを作成することができます。

再度、絵文字利用をONにすると、内蔵の絵文字が表示されます。この際に、絵文字利用OFFで作成したシンボルは、絵文字に付加されて表示されます。

(7) シンボルキー表示数

シンボルキーの表示数を変更することができます。変更できる表示数は、1画面、2画面、4画面、8画面、32画面の5種類です。



(8) リセットパスコード

各種設定を元に戻す場合のリセットパスコードを設定することができます。リセットパスコードを忘れた場合には、ここで設定し直すことができます。



お問い合わせは
トーキングエイドCafe
<http://www.talkingaid.net/>

発売元：株式会社ユープラス
〒124-0012 東京都葛飾区立石7-7-9
TEL 03-5654-6763
E-mail: info@u-plus.co.jp
<http://www.u-plus.co.jp/>